

年中 大切なお友達

思いを込めて作ってきた動物たち。

何を作ろうかな？と考え始めた10月から、少しずつ少しずつ製作を進めていき、今では子どもたちにとって大切な存在になりました。

ある時は動物たちのお父さんやお母さんのように「はい！ご飯だよ！」とご飯を食べさせてあげたり…「電車に乗ろう！」と手作りの動物列車に乗せてあげたり…動物病院もオープンし、怪我や病気の動物たちに包帯を巻いたり注射をしたりしてお世話を楽しむ子もいます。

集まりの中では動物の名前や、得意なこと、好きなことを紹介する子も。「キラキラの目で透明人間が見えるんだ！」「このねこちゃんは後ろ向きで歩くことが得意なの！」などと、子供たちの豊かな発想がとても可愛らしいです。

そんな思いの込められた動物は、来週末のえんまつりで皆様にご覧いただきます。一人一人違う物語がありますから、ぜひ、お子様の言葉にも耳を傾けながらお楽しみください。

まつ組担任

